

匠瑛市食育推進計画 数値目標の達成状況について

基本施策	項目	担当課	数値目標		
			現況値 (平成23年度)	目標値 (平成28年度)	現況値 (平成28年度)
1 地産地消の推進	食生活において「地元産や旬の食材を取り入れた料理を作る」ことを実行している市民の割合(※)	産業振興課	29.8%	35.0%	
	地元農水産物を使った料理レシピの提供	産業振興課 関係各課	0回	5回/年	1回
	市内農水産物の給食施設での利用	福祉課 学校教育課 市民病院	23品目/年 (八日市場学校 給食センター) 36品目/年 (野栄学校 給食センター)	40品目/年	32品目/年
2 家庭・地域における食育の推進	朝食で副菜を食べる人の割合(※1)	産業振興課 学校教育課	42.4% (成人) 36.8% (小中学生)	50.0% 40.0%	42.9%
	インターネットを通じた食育の情報提供	産業振興課 関係各課	未設置	設置	△
3 学校等における食育の推進	地域の方が講師となる「地域の知恵」授業	学校教育課	0回	各校3回/年	各校2回/年
	食育のテーマを取り入れた職員研修	学校教育課	0回	3回/年	3回/年
4 食文化や郷土料理の伝承	郷土料理や地元農水産物を使った料理教室の開催	生涯学習課	2回/年	4回/年	9回/年
	市の郷土料理や特産品を「知っている」市民の割合(※1)	産業振興課	各品10~75%	全ての品を 40%以上にする	
	自分の食事や食卓への不安や不満で、「つい好きな物だけを食べがちで、栄養バランスに偏りがある」市民の割合(※)	産業振興課	34.0%	減少	
5 「食」と健康に関する知識の普及	食の安全性に不安を感じている市民の割合(「不安を感じている」+「多少は不安を感じている」)(※)	産業振興課	75.4%	減少	
	「食事バランスガイドの見方を知っている」市民の割合(※)	産業振興課	18.6%	25.0%	

(※)「食育推進計画策定のためのアンケート調査」における項目